
グッバイ・マイドリーム

さや

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

グッバイ・マイドリーム

【Zコード】

N3228Y

【作者名】

さく

【あらすじ】

ほんの少しの油断から、大事な嫁を失ってしまった青年。
悪夢のような現実に立ち向かうには、彼はあまりにも脆すぎた。
一部に下ネタを含みます。苦手な方はご注意ください。

今日は、待望の嫁が来る日だ。

この日の為に、俺はわざわざ部屋のドアノブを鍵付きの物に付け替えた。

嫁といチャイチャする夢の時間を無粋な家族に邪魔されたくは無いからな。

ベッドはシングルだが、どうせ隙間も無いからギュウギュウに抱きしめて寝る予定だから問題は無いだろつ。

布団は一つ、枕は一つって奴だ。

今夜の事を思つて一人自室でニヤニヤしていると、今はまだ鍵の掛けられていないドアノブがカチャリと音を鳴らした。

反射的に扉へ顔を向ければ、そこには実の姉が冷やかな目つきで俺を見下ろす姿があつた。

な、…何だ？

姉のその、いかにも蔑んでいますといつよつな絶対零度の視線に思わずたじろいでしまう。

こんな風に見られるのは、自分の洗濯物に紛れていた姉の下着を返そうとして逆にいらぬ誤解を招いてしまった時以来だ。

「まさか、アンタにこんな情けない趣味があつたなんてね。」

吐き捨てるように言いつつ、姉はさらに扉を開いて左手に持つている物を見せつけるように突き出した。

その物の正体を確認して、俺は恐怖に喉を引き攣らせる。

ひいっ！

そつ、それは、まさしく今日来る予定だった俺の嫁つ！

アニメヒロインの等身大抱き枕、限定水着バージョン…！

なぜ…どうして、それが姉の手に…？

今日は午後から家族皆予定があるって話だったから、それ以降に届くように指定してあつたはずなのに…！

まさか、オヤジやオフクロにまで見られたんじゃないだろうな…？
近場でついでがあつたのか何なのか知らないが、指定された時間
はきちんと守れってんだよ！

社員の教育はどうなつてんだ！チクショウー・チクショウー・ドチク
ショウ！

憎悪、羞恥、恐怖。

混乱に荒れ吹きすさぶ心の中で逃避的に配達員を罵っている俺に、
姉は情け容赦無く口撃じりげきを仕掛けた來た。

「何よ、このキモい抱き枕。バッカみたい。

いくらリアルでモテないからって、変な物に逃避してんじやない
わよ。

こんな駄枕で自分をダマクラかして楽しいワケ？

つたく、いい年こいて恥ずかしいたらありやしない。目え覚ま
しなさいよ。

あと、コレは私が処分しておくれからね…！」

今日も姉の名刀が俺の急所を的確に切り刻んで来る。

不用意に言い返せばさらに辛辣な一太刀を浴びせられる事は分か

つていいので、俺は脳内で懸命に叫んだ。

「くつそおお、一次元に夢見る事の何が悪いって言つんだ！
リア充な姉貴ならいざ知らず、俺にとっては現実の方が悪夢みたいもんなんだよーっ！」

とは言え、そんな俺でも処分といつ言葉を聞いてはさすがに黙つていられない。

しかし、抗議のために口を開こうとした瞬間、まるで伝説のメドウーサのような鋭く強烈な睨みを利かされて俺の身体は石像の「」とく固まってしまった。

まあ、一部のまだ一度も鞘から抜かれていらないナマクラ息子だけは逆につニヤフニヤになつてゐるわけだが、コイツがコチコチだなんて言つたら、俺は実の姉の罵倒に興奮するド変態になつてしまつ。くつ…。だが、まだ。まだ終わらんよつ。

例え今ソイツを処分しようとも、いづれ必ず第一・第三の嫁が…。瞬間。女特有の恐ろしい第六感とやらで思考を察知されてしまったのか、姉は眉間に皺を寄せついで言ひ放つた。

「忠告しておくけど…、次は無いわよ。
社会的に葬り去られたくなれば、こんなキモい趣味はスッパリ諦めることね。」

…絶壁。

あまりのショックで、一気に田の前がマックラになり、身体から力が抜けヨロヨロと地に伏してしまつ。

俺が倒れるのとドアが閉まるのは同時だった。

ああ、今となつては無用の長物となつてしまつた鍵付きドアノブが恨めしい…。

ふと嫁を迎える為にマクラれた毛布が視界の端に入り、一層俺の中の喪失感を引き立ててくれる。

その夜。力マクラのように布団を盛り上がらせて、その中で一人、俺は「き嫁を想い枕を濡らした。

グッバイ・マイハニー。
グッバイ・マイラブ。

そして……。

永遠にグッバイ…………マイ…………ドリーム…………。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3228y/>

グッバイ・マイドリーム

2011年11月11日20時15分発行